

2-5. 大野地域のまちづくり構想

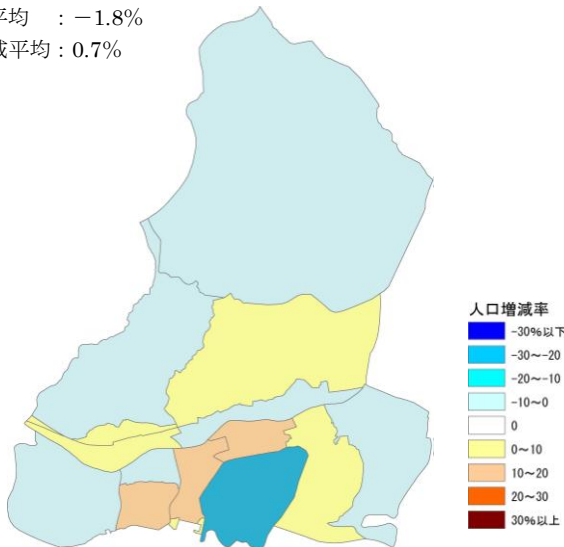
(1) 地域の概況

- 大野地域は、大野支所管内を対象とした1,075haの面積を有する地域です。
- 人口は、平成17年の国勢調査において、19,126人で、平成7年から人口は横ばいとなっています。
- 瀬戸越地区や泉福寺地区において人口密度が高い状況です。
- 高齢化率は市平均と同じ値となっています。

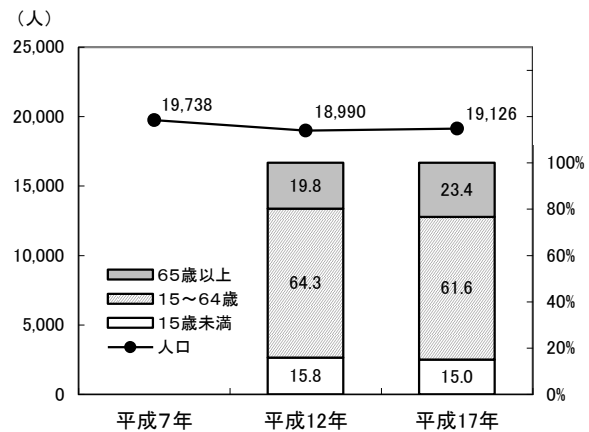


[人口増減率（H17/H12）]

市平均：-1.8%
地域平均：0.7%

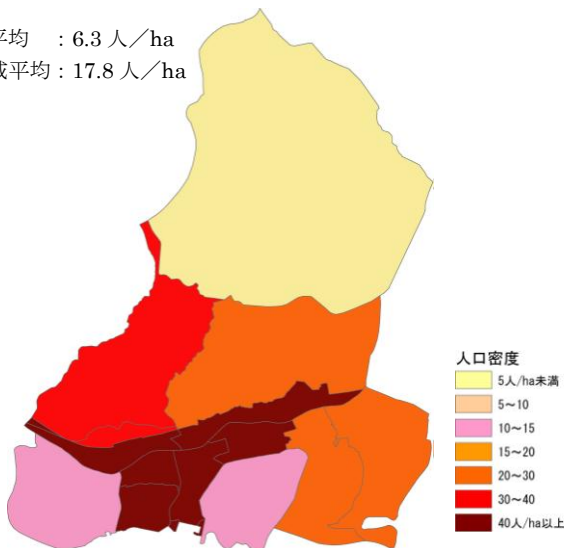


[人口推移及び年齢3区分人口比]



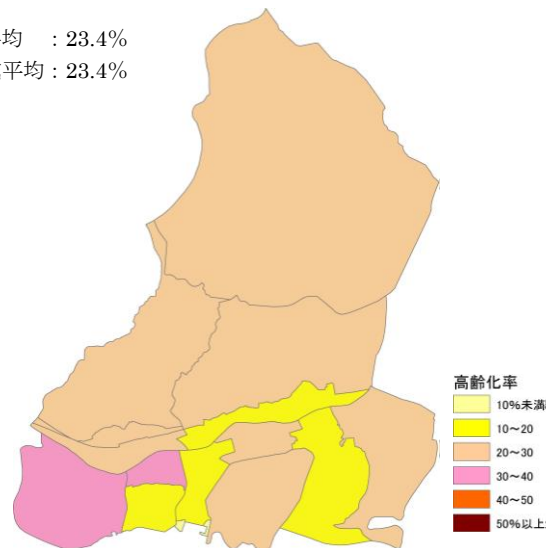
[人口密度(H17)]

市平均：6.3人/ha
地域平均：17.8人/ha



[高齢化率（H17）]

市平均：23.4%
地域平均：23.4%



(出典：国勢調査)

(2) 地域の特性と主要課題

地域の特性

- 当地域は、市の中北部に位置し、主要幹線道路が交わり、鉄道やバスといった公共交通機関が充実し、北部方面への交通結節点となっています。
- 泉福寺地区には県営及び市営住宅が建ち並び、相浦川沿いから斜面地にかけて住宅地が形成されています。
- 国道 204 号と 498 号の交差点からそれぞれの国道沿いに、高等学校や高次医療機関、沿道型の店舗などが立地しています。
- 泉福寺洞窟や岩下洞穴をはじめとした歴史文化資源や、眼鏡岩公園などの特色ある自然景観を有しています。
- 交通結節機能や都市機能の集積を活かし、周辺地域の日常生活を支える役割を担っています。

地域の主要課題

● 周辺地域からも利用しやすい市街地の形成への対応

当地域の中心部である左石駅周辺及び国道 498 号沿線においては、周辺地域からも頼られる都市機能の維持や交通渋滞箇所の改善などによる利便性の高い市街地の形成が求められます。

● 誰もが快適に暮らせる生活基盤の充実への対応

高齢化の進行によって、自家用車を運転しない人が増えることが想定され、当地域の斜面地に広がる住宅地など、地域の中心部までの移動が困難な地区への対応が求められます。

● 地域の歴史文化資源や特色ある自然景観を守り活かした交流の活性化への対応

当地域には、泉福寺洞窟や岩下洞穴、大智庵城跡といった歴史文化資源や眼鏡岩などの特色ある自然景観を有しており、これらの地域資源を守り活かした地域外との交流の活性化が求められます。

● 豊かな自然や田園景観の保全への対応

当地域の北部から世知原地域にかけて緑豊かな自然や棚田の田園景観を有しており、これらの景観を形成する自然環境や農地と市街地のすみ分けが求められます。

(3) 地域の将来像とまちづくりの主な視点

地域の将来像

都市機能の集積や地域資源を活かし
多くの人を訪れる利便性の高いまちづくり

地域のまちづくりの主な視点

- **周辺地域から頼られる利便性の高いまちづくり**
公共交通機関の利便性の良さや既存の都市機能の集積を活かし、周辺地域から頼られる利便性の高いまちづくりをめざします。
- **誰もが快適に暮らせる住みよいまちづくり**
地域内の円滑な移動手段の確保や生活基盤の整備によって、地域内の交流を促進し、誰もが快適に暮らせるまちづくりをめざします。
- **歴史文化資源や自然を活かした交流のまちづくり**
当地域が有する歴史的な資源や豊かな自然を守り、活かした地域内外との交流が盛んなまちづくりをめざします。

（4）地域のまちづくり方針

地域におけるまちづくりの基本的方針

当地域は、公共交通の利便性が高く、国道沿いを中心に周辺の地域からも多くの人を訪れる医療、教育、沿道商業といった都市機能が集積しています。

また、歴史文化資源や特色ある自然景観など、地域内外との交流に資する地域資源を有しています。

今後は、このような地域がもつ都市機能や、地域資源を活かし、周辺の地域から頼られ、多くの人を訪れる利便性の高いまちづくりを進めていくものとします。

地域のまちづくりの方針

● **周辺地域から頼られる利便性の高いまちづくり**

①公共交通機関の利便性や既存の都市機能の集積を活かした地域核の形成

大野支所周辺から労災病院周辺にかけて市街地を地域核と位置付け、交通結節機能や既存の都市機能の集積の維持・向上によって利便性の高い市街地の形成を図ります。

②周辺地域の日常生活機能を補完する市街地の形成

国道 498 号沿いの沿道型商業施設の集積地においては、当地域及び周辺地域における日常生活の利便性向上に資する適正な沿道商業施設の誘導を図ります。

● **誰もが快適に暮らせる住みよいまちづくり**

③地域の日常生活を支える移動手段の確保

斜面地に広がる住宅地などの主要な幹線道路から離れた地区においては、誰もが快適に移動できる幹線道路までの移動手段の確保を図ります。

● **歴史文化資源や自然を活かした交流のまちづくり**

④歴史文化資源を活かした、地域外との交流の促進

泉福寺洞窟や岩下洞穴、大智庵城跡などの歴史文化資源を保全するとともに、これらの地域資源を活用した交流の促進を図ります。

⑤豊かな自然や憩いの空間の保全と活用

石盛岳公園や世知原へと繋がる緑豊かな自然環境や田園景観を保全し、また、眼鏡岩公園や大智庵城跡公園などが有する自然景観などを活かし、自然とふれあえる憩いの空間としての保全と活用を図ります。

大野地域のまちづくり方針図

〈国道 498 号沿道〉
②周辺地域の日常生活機能を補完する市街地の形成
 <想定される取組>
 ○適正な沿道商業施設の誘導
 ○居住環境の維持に資する住・商の適切なすみ分け

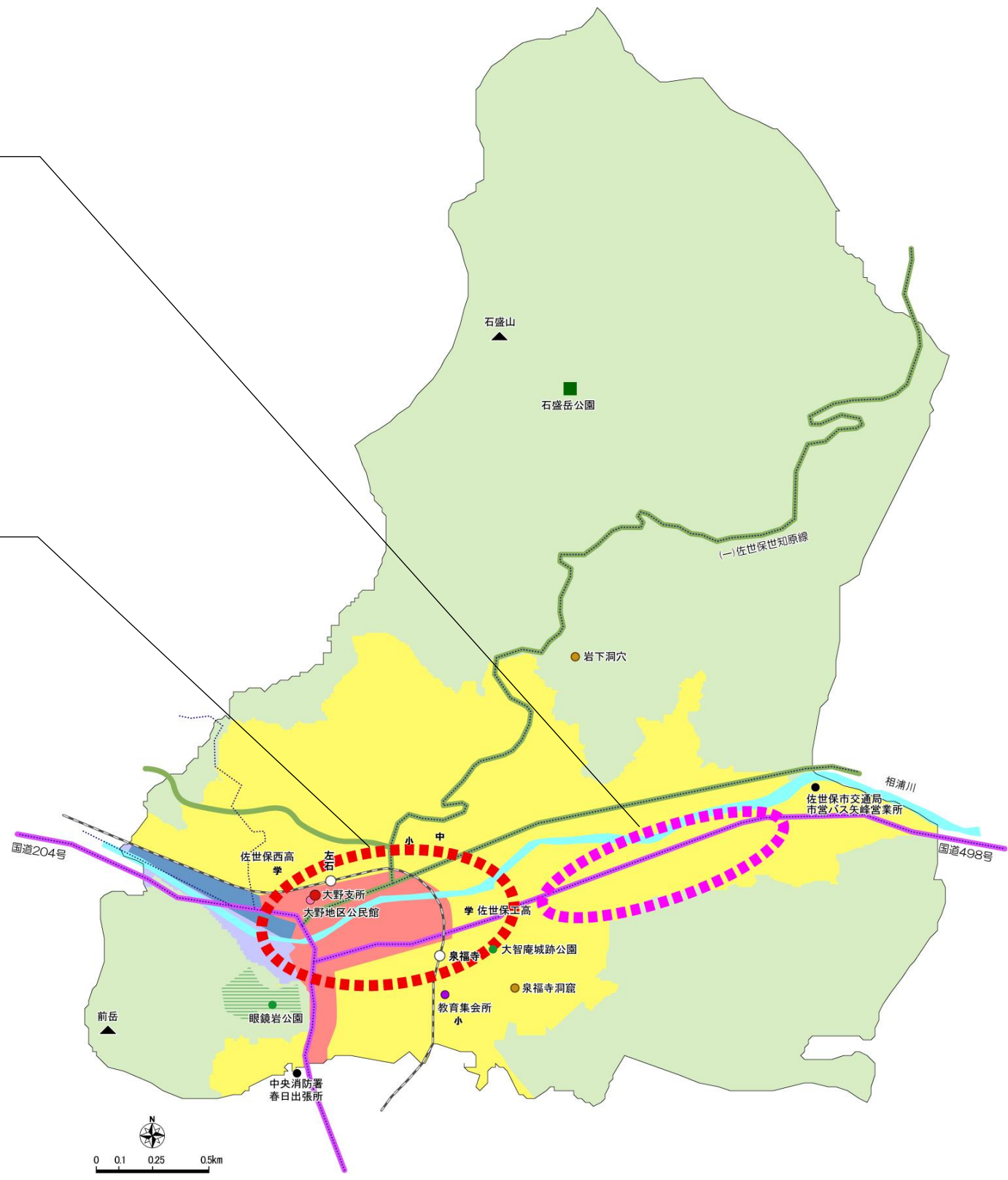
地域核
 〈大野支所～労災病院周辺〉
①公共交通機関の利便性や既存の都市機能の集積を活かした地域核の形成
 <想定される取組>
 ○商業、医療、教育などの都市機能の集積
 ○基幹的な公共交通の利便性の維持・向上
 ○交通危険箇所、渋滞箇所の改善

〈自然環境共生地〉
④歴史文化資源を活かした、地域外との交流の促進
 <想定される取組>
 ○泉福寺洞窟、岩下洞穴、大智庵城跡などの歴史文化資源の保全
 ★歴史探訪など交流の場としての活用
 ★地域資源の案内など交流促進のための活動

⑤豊かな自然や憩いの空間の保全と活用
 <想定される取組>
 ○市街地拡大の抑制
 ○石盛山などの自然環境の保全
 ○眼鏡岩及びその周辺の個性ある自然景観の保全
 ★特色ある公園の情報案内機能の充実
 ★田園景観の保全

〈交通機能〉
③地域の日常生活を支える移動手段の確保
 <想定される取組>
 ○幹線道路へアクセスする生活道路の改善
 ★地域内の移動手段の導入に向けた検討

商業・業務地	市役所	高規格幹線道路
工業地	支所・行政センター	地域高規格幹線道路
住商共存地	公民館	主要幹線道路
住宅地(用途地域内)	教育・文化施設	主要な道路
集落地(用途地域外)	小 小学校	鉄道
自然環境共生地	中 中学校	国際航路
保全すべき緑地	学 その他の主な学校	航路
海岸	+ 保健福祉施設	基幹バスルート
観光施設	● その他主な公共公益施設	河川
特色ある公園	● 文化財・史跡	
主な公園		
主な運動施設		



凡例
 <想定される取組>
 ★印は、主に、地域が主体となった取組が期待されるもの。